

教科	数学	科目	数学 I	単位	3単位	年次	1年次
使用教科書	啓林館 詳説 数学 I 改訂版 (61 啓林館 数 I 324)						
副教材	改訂版 教科書傍用 サクシード 数学 I + A (数研出版)						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語で授業を行います。そのため、教科書をよく読み日本語と英語を対応させながら授業に臨んでください。数学では、抽象的な概念の一般化を目指します。また、コミュニケーションをとるための「数学という固有の言語」を学習します。問題が解けるかどうかを単に目指すだけでなく、なぜこうなるのかを説明したり、なぜこのような公式なのかを理解することを目指します。英語での学習になるので、予習復習をしっかり行ってください。

2. 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える・知る能力を身につけることを目指す。数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 主 旨	数学のよさを認識し数学を活用しようとする。また、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価・改善しようとする。	身の回りの事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	身の回りの事象や、数学特有の事象について、数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解している。また、数学における基本的な知識を理解し、計算や生活の中で役立てようとしている。
評 価 方 法	・授業態度 ・課題提出 ・スタディサプリでの課題提出	・課題提出 ・小テスト ・定期試験	・課題提出 ・小テスト ・定期試験	・課題提出 ・小テスト ・定期試験

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4	数と式	式の計算、実数	○	○	○	○		a:展開と因数分解の関係に着目し、相互の検算に活用しようとする。 b:式の展開が分配法則を用いて行われることを理解している。	
5	数と式	実数、1次不等式	○	○	○	○		c:ある文字に着目し、整式を整理することができる。対称式の特徴を理解し計算できる。 d:基本的な展開、因数分解、整式の計算が行える。	
6	2次関数	2次関数とグラフ	○	○	○	○		a:放物線の意味を理解し、2次関数が他の学問領域でどのように扱われているのか関心をもって考えることができる。 b:2次関数と2次方程式の関係性を理解し、数学的事象を考える際、	

